

数 学 I

1. 学習の到達目標

基礎基本を確実に定着させ、大学入試問題などの高いレベルの問題にもそれらを正確に活用・表現することを通じて、課題の解決に際し数学的論拠に基づいて思考・判断し、自らの考えを表現・検証できる能力を育てる。

2. 使用教科書：新編数学 I（数研出版）

3. 指導計画

学習時期	単元／学習事項	学習のねらい
1 年	4月 整式の乗法、因数分解 実数	式の見方を豊かにする。
	5月 1次不等式・連立不等式 1次不等式の利用 集合と論理 命題と条件	1次不等式についての理解を深め、それらを文章題などへ活用する。 命題の概念を理解し、論理的な思考ができるようにする。
	6月 命題と証明 【前期中間考査】 2次関数	2次関数について理解し、関数を用いて数量の変化を表現する。
	7月 2次関数のグラフ 2次関数の最大・最小 2次関数の決定	定義域の移動や軸の移動などに伴う変化について理解させる グラフから必要な条件を導きだせるようにする
	8月 2次方程式 2次不等式	2次関数を利用し、具体的な事象の考察や2次不等式を解くことに活用する。
	9月 三角比について 三角比の拡張 相互関係、三角方程式 【前期期末考査】	正弦、余弦、正接を直角三角形の辺の比と角との関係として理解する。 角を鈍角まで拡張し、三角比の意義を理解する。
	10月 正弦定理・余弦定理 面積公式・内接円の半径	三角比を用いたいろいろな公式をこなせるようにする。
	11月 データの分析 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差	データを整理するという概念を理解し、度数分布、ヒストグラム、相対度数で表すことができる。
	12月 【前期期末考査】	

4. 評価規準と方法

【評価規準】

- 論理的に計算技能を活用しようとする意欲が見られるか。
- グラフの平行移動を用いて一般の2次関数のグラフの特徴を理解できるか。
- 適当な作図や公式を活用して、図形を計量できるか。
- 相似な図形の面積比・体積比について、関係を理解し、それを活用できるか。

【評価方法】

定期考査、提出課題および提出状況、学習活動への取り組み方